

| 重点目標 | 努力事項 | 具体的取組事項 |
|---------------------------------------|---|--|
| ④ 一人一人を大切に する指導 | ○積極的で組織的な児童理解と一人一人の実態に応じた指導の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活、健康面などで配慮の必要な子どもについて、ケース会議や生徒指導・特別支援連絡協議会等で共通理解を図り、学校全体での報告・連絡・相談を行う。 ・教育相談や外部機関との連携等により児童理解を図り、必要に応じて個別の支援を行う。 |
| | ○特別支援教育(インクルーシブ)の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生活の流れがわかり見通しをもって動くことができるよう、声かけや表示などで示す。 ・特別支援学級・通常学級・通級指導教室で連携をとりながら児童に合った教育を進める。 |
| | ○一人一人に応じたPBSとキャリアパスポートの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・当たり前のことでも児童をほめたり、「ありがとう」を伝えたりする。 ・できたこと・がんばったことを記録することで見える化を図り、児童に達成感をもたせる。 |
| ⑤ 安全・安心な 学校づくり | ○校内の安全管理の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に備え、名札と上靴の着用を習慣づける。 ・防災ずきんの常備を心がける。 ・校内では右側を歩いて通るよう指導する。 |
| | ○防災意識の高揚と避難行動の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事態を想定した避難訓練を行い、家庭で話し合う機会がもてるよう働きかける。 |
| | ○病気・怪我・アレルギーなどの丁寧な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしたり不調を訴えたりしている児童がいるときには、迅速に保護者連絡を行い、状況を丁寧に説明する。 ・集団感染を予防するために、手洗い・うがい・消毒などの基本的な感染症対策を継続する。 |
| ⑥ 保護者・地域 等と協力・連 携した学校づ くり | ○積極的な教育活動の公開や情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や学習の様子を毎月1回以上「学年だより」「HP」等で地域や保護者に発信する。 |
| | ○地域に根ざした教育活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間等の学習を通して、地域のよさや自分とのかかわりに気付かせる。 |
| | ○保護者・地域の声を大切に した学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・児童アンケート・保護者アンケートで実態を把握するとともに、学校関係者評価によりご意見をいただき、改善に努める。 ・慈恵院、幼稚園、中学校、校区内の児童館や学童保育、デイケアセンター、交番などと連携、交流を深める。 |
| ⑦ 効率的で働き やすい職場づ くり | ○グループウェアを使った 情報共有の効率化 | <ul style="list-style-type: none"> ・STORKを用いて情報共有を図り、1日1回は必ずSTORKを見て情報を確認することを習慣化する。(できれば毎朝予定を確認することが望ましい) |
| | ○「チーム福島」を意識した 助け合う職場づくりと、チャ レンジ精神によるやりがい づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや悩みを、同僚や学年団、管理職等に相談したり、お互いに声をかけあったりして、温かで風通しのよい職場にする。 ・それぞれの個性や得意なことを生かした公開授業をするなど、学び合う機会をもつ。 |
| | ○ワークライフバランスを 考えた超過勤務時間の改 善 | <ul style="list-style-type: none"> ・TTに入ってくれている先生に丸つけやプリント印刷をお願いするなど、可能な範囲でお手伝いをお願いする。 ・週のうち一日は18時までに帰るように心がけ、帰る時間を決めて学年団で宣言する。 |